

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	全 員 協 議 会	場 所	全 員 協 議 会 室
		担 当 職 員	阿 久 根 由 美 子
日 時	平成 2 6 年 6 月 2 7 日 (金 曜 日) 開 議 午 前 1 0 時 0 0 分 閉 議 午 前 1 1 時 0 4 分		
出 席 議 員	議 員 2 3 名 (堤 議 員、西 村 議 員、竹 田 議 員 欠 席)		
執 行 機 関 出 席 者			
事 務 局 出 席 者	藤 村 局 長、山 内 次 長、阿 久 根 副 課 長、山 崎 係 長、三 宅 主 任		
傍 聴	可・否	市 民 1 名、報 道 関 係 者 2 名、執 行 機 関 0 名	

会 議 の 概 要

1 0 : 0 0

1 開 議

〔 明 田 議 長 開 議 〕

〔 事 務 局 長 日 程 説 明 〕

2 議 員 の 定 数 ・ 報 酬 に つ い て

< 明 田 議 長 >

本 件 は 議 会 運 営 委 員 会 で 検 討 願 っ て い る。議 会 運 営 委 員 長 か ら 報 告 を 受 け る。

〔 湊 議 会 運 営 委 員 長 報 告 〕

(要 旨) 検 討 経 過

素 案 < 定 数 > 次 期 選 挙 か ら 2 4 人 < 報 酬 > 現 行 維 持

意 見

< 定 数 > ・ 1 常 任 委 員 7 人、議 長 と 監 査 委 員 が 加 わ り 2 3 人

・ 法 定 上 限 の 3 0 人 に 2 割 を 削 減 し、2 4 人

- ・過去に減数をしてきた。議会の役割を果たすため減数するべきではない

- ・中立の立場である議長の裁決を避けるためには定数が偶数であることが望ましい

減数に賛成の意見が多数であった。意見集約し、「議員定数を 2 名削減し 24 人とする」ことを素案として考えている。

< 報酬 > ・議員活動に専念するために下げるべきではない

- ・交通費実費支給もない状況のなか、下げるべきではない

- ・職業や年齢、性別、居住区域など様々な住民が議員に選ばれ、特に若者が議員に立候補したいと思えるよう、下げるべきではない

- ・前回改正前の 45 万円に戻すべき。

- ・1 万円増額しても若者の議員立候補が増すとは思えない、現行を維持すべき。

下げないことで一致するなかで、前回（平成 18 年）改正前の 45 万円にする増額の意見と現行維持の意見に分かれた。最終的には採決で「現行維持」が多数となり、素案とする。

今後 ・ 7 月 29 日議会運営委員会で、有識者等を参考人に意見聴取

- ・パブリックコメント募集

- ・ 9 月定例会で改正案提案

【質疑】

< 酒井議員 >

論点の検討内容は。

< 湊議会運営委員長 >

アンケート調査の結果をもとに論点を整理し検討した。論点ごとに現状、対策などを議論した。必要なら文書を配付する。

< 酒井議員 >

1 委員会 7 名が適当との根拠がよく分からない。そもそも議論の目的が一致していないと議論にならない。目的は行政改革のためなのか、市民の理解を得るためなのか、議会の機能充実のためなのか分からない。

< 湊議会運営委員長 >

15 期当初から議員それぞれが考えを持っていた。議会改革推進特別委員会で議論することが大事ではないかと始まったが意見がまとまらず、議会運営委員会で検討することになった。

< 酒井議員 >

目的が議論しようではまともな議論ができない。議論出来ず結論を出してしまうのでは、報酬も定数も要らないと市民に思われても仕方がない。こんな中身でまとめるのはどうかと思う。

< 立花議員 >

減数の根拠が分からない。26 人で何が問題なのか。

< 湊議会運営委員長 >

議会運営委員は会派の代表であり、議論は会派に報告されてきた。素案としてまとめる必要があり意見を集約した。理解願う。

< 立花委員 >

答えになっていない。定数削減に反対である。人口が半減するなど納得する理由があれば理解できる。これで市民説明ができるのか。

< 湊議会運営委員長 >

賛否意見はあった。それらをまとめた。

< 酒井議員 >

議論しなければいけないから会議をして、結論出さないといけないから意見をまとめたとのことである。全てがこうなのかと市民は思う。市民に役立つ議会なのか。この状態で素案を出すことはやめた方がよい。議論し直すか撤回をしてほしい。

< 湊議会運営委員長 >

8 回会議を行い議論してきた。結論ありきの議論はしていない。意見を慎重に聞き、時間をかけて意見を出し合い素案を決めた。誤解のないように願う。

< 吉田議員 >

減数の目的が見えない。総務文教常任委員会では抱える案件が多いので委員会を分

けてもらいたいと思っている。そうならば定数は足りない。増やす目的はある。減らす目的がさっぱり分からない。議会運営委員会では答えを出す必要があり、よく意見をまとめられたことと思うが、まとめたから結論が正しいとは思っていない。減数の理由を聞かせてほしい。減らす目的を明確にできなければ議会が恥ずかしい。市民理解が得られないなら、市民に説明すればよい。

< 明田議長 >

意見ではなく、質疑願う。

< 苗村委員 >

結論の理由は何か。

< 湊議会運営委員長 >

目的は委員によって違う。議論の過程は随時配付している。全協で全議員の意見も聞いてきた。必要な手順は踏んできた。意見は今出してもらいたい。

< 中澤議員 >

財政が厳しいなか、議会改革の一環としても検討してきた。手順を踏んできている。今クレームが出るのはおかしい。

【素案に対する意見】

< 明田議長 >

各議員の意見を聞く。

< 石野議員 >

委員長の報告どおりで意見はない。

< 西口議員 >

議会運営委員会で議論したうえでの結論であり尊重したい。

< 日高議員 >

議会運営委員会の結論に意見はない。

< 山本議員 >

議会運営委員会の結論に意見はない。

< 立花議員 >

素案には2つの意見を併記するべきで、根拠も明らかにしなければならない。報酬は報酬等審議会の意見を聞くべきで、議会での議論は不要だと思う。

< 馬場議員 >

減数の理由はない。採決の結果を詳しく報告するべき。素案では意見を併記するべき。定数は財政に関わらない。議会力の充実のために考えるべき。

< 田中議員 >

30人の2割削減とは数字合わせであり、理由が不明確である。意見は併記すべき。

< 苗村議員 >

賛成多数で結論に至った詳細を明らかにするべきで、今削減の理由が分からないのはどうかと思う。反対意見も併記すべき。

< 並河議員 >

削減ありきの議論であった感じがしている。定数が減れば議論が尽くせない。定数は削減するべきでない。併記した意見で外部意見聴取もパブコメ募集もやるべき。

< 井上議員 >

財政削減、市民要望などの理由なら理解できる。

< 酒井議員 >

委員によって目的がいろいろと議会運営委員長が報告されたが、目的がいろいろでは議論が始まらないし議論もかみ合わない。議会改革推進特別委員会では議会、議員のあるべき姿を明らかにしないと議論はできないだろうと言っていたのに、議会運営委員会では何故か他市の状況等で決められた。そんなことでパブコメ募集して、議会のあるべき姿を市民と共有せず進めるのかどうか。このまま進めることはやめるべき。行財政改革を言うのなら目的もなく開かれた会議のコストについてまず考えるべき。

< 齊藤議員 >

議論したうえでの結論である。報酬は費用弁償がないことを考慮して増額すればと思っている。若い議員が増える議会にしたい。

< 福井議員 >

特別委員会で議会のあるべき姿を検討されていたが、その答えが出たかは非常に疑問である。議会運営委員会での結論は尊重したい。

< 眞継議員 >

削減を容認する。同時に減数後の議会活動を考えてもらいたい。

< 中村議員 >

検討当初から意見は違っていた。合意は難しい。議会運営委員会の結論で進めてもらいたい。

< 中澤議員 >

議会運営委員会での議論、結論を尊重する。

< 吉田議員 >

全議員に関わることなので、以降は全員協議会で議論してほしい。目的は明確にするべき。行政改革をいうなら議会は要らない。議会が存在しなければ報酬等のコストが要らなくなる。民主主義は憲法、地方自治法で決められておりそういうことで

はない。時間とコストをかけても民意を反映し正しい答えを導かなければならないのが国家のあり方である。そのことを忘れて行財政改革を言うのは議会を理解していない、民主主義を分かっていないと思う。

< 菱田議員 >

会派の意見はまとまらなかった。議会運営委員会の結論のとおりで意見はない。

< 木曾議員 >

議会運営委員会の結論は理解するが納得がいかない。議会のあるべき姿を議論し定数を考えるべきで、報酬は報酬等審議会の意見を聞くべきだと思っている。今後は全員協議会で議論願う。

< 藤本副委員長 >

特別委員会では減数ありきではなく適正な定数、報酬の議論をした。適正な数字を検討するべきで特別委員会では結論を出さず、議会運営委員会で議論することとなった。定数 6 点、報酬 2 点の論点を整理し議論をした。全議員にはアンケート調査、全員協議会で意見を聞き、議論の過程をまとめ配付もした。手順を踏み、議論を重ねてきているので尊重し、前に進めるべき。

< 小島副議長 >

議論を重ねた経過がある。結論に異論はない。

< 湊議会運営委員長 >

意見が一つにまとまることはない。目的や論点は一致できるものではなく整理できるものでもない。最終は採決も行い決定した。この場での意見は議会運営委員会に持ち返る。素案の修正はしないが、議論等の説明については考える。

< 事務局長 >

再度全員協議会を開催されるのか。

< 湊議会運営委員長 >

素案は変えない。報告は書面ですればどうかと考えている。

< 事務局長 >

案を 1 つにまとめたうえで外部意見を聞かなければならない。

< 馬場委員 >

経過をまとめ文書で配付してほしい。

< 井上議員 >

9 月定例会での改正か。

< 明田議長 >

その予定である。

3 その他

〔事務局長 終了後の会議予定、7/3 議員団研修連絡〕

散会 11:04